

成田の将来と日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

成田シティージャーナル

発行：ネットハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉 14-3
TEL 0476-89-2333 FAX 0476-89-2334
<http://www.naritacity.com>
成田市、佐倉市、印西市、富里市、香取市、山武市、船橋市
千葉市(花見川区、美浜区)、習志野市、八千代市、四街道市
酒々井町、栄町、小林、安食、多古町、横芝光町、芝山町、神崎町
発行部数：500,000部

今、日本は輝いている！ 至難を耐え忍び、お互いをいたわる日本の優しい心に世界が注目！！

2011年3月11日、マグニチュード9.0の巨大地震が東日本の太平洋岸を襲いました。アメリカの東海岸、ハートフォードに滞在中、夜中にCNNニュースをテレビで見ていると、突如、上空から撮影された大津波の映像が緊急ニュースとして流れたのです。一見、プーケットを襲った津波の映像かと思いきや、それは日本で発生した巨大地震と津波であり、東北地方を中心に襲いかかり、海岸沿いの町が一気に押し流されて壊滅したことを知りました。すぐに帰国したくとも、成田空港さえもが閉鎖されたとの事実、不安心理が高まります。状況を把握するため、日本に電話するも回線は全て不通。時折つながるインターネット経由のメールのやり取りから被害状況について情報を確認し続け、成田空港が再開する時を見計らって、3月12日、複雑な思いを抱えつつ帰国の途につきました。

災害の苦悩は分かち合うものである

帰国後は当然のことながらニュースは全て災害関連一色であり、町全体が津波で押し流され、無数の車が波にのまれ、気仙沼市のように大火災が発生した町も少なくない状況から、被害は甚大であり、大勢の方の命が危うい状況であることは一目瞭然でした。時間が経つにつれて死者、行方不明の方々も一万人を超えるのではと囁かれ始め、中には未だ瓦礫に埋もれている方々もいるはずであり、心が痛みました。そして想像を絶する悲惨な光景をテレビで見ながら、「今の自分に何ができるだろうか？」という思いがこみ上げてくるのでした。

筆者の本職は楽器や音響機器の全国通販であり、また、ペットボトルの水も販売しています。災害当時、弊社の倉庫には10万本以上のペットボトルの在庫がありました。この水こそ命の水となり得るかもしれません。

また、被害に遭遇した地域には、震災発生直前に注文された弊社から送られてくる商品を持っているお客様もおられ、中でも明らかに壊滅的な被害を受けた地域にお住まいになっていた方が15名存在していたのです。さまざまな方法で連絡を取ったり情報を集めた結果、8名は自宅に避難し、3名は避難所他での生存を確認できましたが、残り4名の方々とは連絡が付きません。その地域は石巻市、気仙沼市、陸前高田市、宮古市と、特に被害が甚大な被災地の名前が連なります。

これらのお客様の安否確認や、被災地で苦しむ方々に手を差し伸べたいという思いから、すぐに支援活動に出向くことを決断しました。ところがその時点での現地の情報は余りに少なく、多くの危険を伴うことは火を見るより明らかでした。まず、道路状況が大変悪く、各地で道路が封鎖され、東北自動車道も通行止め。そしてガソリンが不足し、既に成田市界隈のガソリンスタンドでも長蛇の列ができ、東北地方では更にガソリンが困窮していると言うことです。また寒気が襲い、気温は零下を下回り、雪が積もることも想定されました。そして南北500kmにも及ぶ広大な被災地のどこで支援活動を行えばよいのか見当もつきません。しかしながらテレビや新聞では、避難所でも多くの方々が大変な生活を強いられている姿が連日放映され、しかも、避難所にさえ来ることができない孤立した人々や、救援物資が行き届いていない被災地が、まだ大勢残されていることも報道され始めたのです。特にお年を召した方の場合、簡単に家を離れることができるわけもなく、道路が寸断され、交通手段が失なわれているため、もはや一刻の猶予も許されません。

準備の期限は1日のみ！

3月17日、自らが経営する

サウンドハウスのホームページに決断の 때가 迫ったことをメッセージとして書き込み、1両日中に出発することを決めました。目的は、まず被災地のニーズを直に確認した上で、支援物資を供給することです。その際、出来る限り、孤立している被災者を探し求め、車だけでなく足を使って出向くことを考えました。行程については、被災地におられるお客様の場所を地図にプロットして順番に訪ねて回り、現地にて新たな情報を得ながら軌道を修正するという作戦です。そしてお客様の安否確認と共に商品をお届けし、同時にその町において物資の支援をすることにしました。

準備の時間は1日。早速、会社代表である筆者自身を含めて3名の社員、及び、本部3名からなるTEAM90を編成。3月15日に警察庁が食糧・生活用品運搬車に通行許可を出す事を決定したことを受け、東北自動車道を始め、その他、通行止めの道路でも行き来できるように、すぐに成田警察署にて4トントラックと大型RV車の2台を緊急支援車両として認定を受けました。次に携帯電話が使えず、車両同士の相互連絡がとれないことを想定し、車両に無線装備をすることを決定。幸いにも成田市内に設備の在庫を持っている店舗があり、弊社技術陣の力を借りて即日、設置完了。無論、各種携帯電話だけでなく、パソコン通信もできる体制を整えました。思いのほか苦労したのはタイヤチェーンです。既に3月も半ばを過ぎ、どのお店も在庫がなく取り寄せになるということ。どうしても成田界隈では見つけることができず、最終的にトラック用のチェーンは東京の大井で探すことができたが、RV車用のチェーンはどこにも見つからない為、東京界隈の住宅地で同型の車両を見かけては、「支援の為、チェーンをお持ちなら貸して頂けない

でしょうか」と書いた紙きれを窓に挟んで走り回ること。幸いにもメーカーの方からスタッドレスタイヤなので雪道も大丈夫です、との言葉を頂き、チェーンなしで見切り発車することになりました。

また、道路事情等で、車での移動ができない地域があることも見越して、原付自転車2台を搭載することにしました。中古を簡単に見つけることもできず、結局は思い切って新車を2台購入し、3時間で整備から登録まで、全てを終えて頂きました。そしてペットボトル24本入りの飲料水273ケースをトラックに搭載。後は様々なニーズを想定した上で、食料、毛布、更には菓等の生活必需品等、支援物資の数々を、手分けして成田市内で一気買い込み、2台の車を物資で一杯にしたのです。

支援の旅路に向けていざ、出陣！

4トン車は2名からなるT1隊、RV車は3名からなるR2隊と命名され、3月20日、早朝5時、被災地に向け出発しました。T1隊は成田を出発後、宮城県の仙台周辺へと向かい、利府、塩釜を回り、支援活動をしながらか一泊後、翌朝は気仙沼から北上を開始し、陸前高田や大船渡に向かいました。R2隊は東北自動車道経由で一気には八戸に向かい、そこから三陸沖に向けて南下するルートをとどり、T1隊とは仙台から三陸海岸沿いのどこかで合流することを目指しました。

一番気になっていた給油情報については、死活問題であることから、頻りに携帯やメールを介して本部との情報交換が行われました。一度、東北自動車道を下りて内陸に入ると、給油の見込みが無い為、とにかく東北自動車道では常にタンクを一杯にすることを考えたのです。パーキングエリアでは緊急車両は給油可能という事前情報を得ていたのですが、実際にはその半分程が閉まっていただけでなく、場所によっては給油量のリッター制限があり、十分な給油をするには相当な苦労が伴いました。そして高速を下りて被災地に向かい、タンクが目減り

する度に、次の給油を考えながら不安を隠せない時間を過ごすことになりました。

災害地の壮絶な状況に言葉を失う

R2隊が八戸に到着後、すぐに港に向かうと、確かに八戸港は津波による被害が甚大であり、大型漁船が道路上に棚上げされている程でしたが、その裏の町が若干高台になっていることから、被害は最小限に食い止められたようでした。八戸市庁の防災危機管理課を訪ねると、八戸は比較的被害が少なく、物資も十分にあるが、岩手県、宮城県は青森から救援物資を送りたくてもガソリンが足らずに送ることが出来ない為、被害の大きい南へ向かってくださいとのこと。岩手県の県北広域振興局にもようやく電話が繋がり、災害支援の通行許可車であれば、国道45号線で八戸から宮古へ到達できると思うとのこと、予定通り八戸から一気に国道45号線を海岸沿いに南下を始めました。

暫くして岬のカーブ上の道路を曲がると、それまで海を左手に緑り広げられていた美しい光景が一変、陸中野田から突如として津波によって壊滅した広大な被災地の様相が目に見えたのです。そこで目撃した現場の悲惨な状況は言葉で言い尽くすことはできません。そして瓦礫を撤去する際、未だに遺体が発見されることも少なくはなく、重苦しい雰囲気包まれた遺体収容の現場にも遭遇しました。ふと、海岸沿いの大型防波堤の更に上に建てられた3階建の鉄筋コンクリート造の建物を見ると、津波の被害により3階部分も大きく被害を受けていたことがわかります。岩手県の北部でも、津波の高さは明らかに20mを優に超えていたのです。

海岸沿いの被災地では自衛隊による救援活動も継続して行われ、重機を用いた瓦礫の撤去作業も実施されていました。しかしながら被災地は南北500kmに広がる膨大なエリアにまたがる為、大半の地域では、自衛隊の方々が素手で片付け、捜索を行っていたのです。これらの壊

次頁に続く

滅した町には、自分の家に別れを告げるために戻ってくる住民の方々も多く、瓦礫に囲まれた道路の片隅から変わり果てた我が家の最後の姿を見つめている方の姿が印象的でした。田老町では片付けをしているご年配の夫婦に声をかけて、「何かお手伝いをしましょうか」と申しでも、「思い出のあるものを探しに來ただけですから」と、長年住まわれた自分の居宅に別れを惜しむように静かな時間をすごしている姿に、そっとしておいてあげることしかできませんでした。

また、被災地では一応にして自動車の数が少なく、自転車やオートバイもあまり見当たらず、殆どの方が歩いていました。田老町の支援リーダーの方に話を伺ってみると、とにかくガソリンと交通の手段が無い為に避

難所を訪れることができず、安否確認さえなかなかできないということです。その為、バイクがあると有難いとのこと。今回の支援物資の中には原付バイクもあったので、T1部隊に連絡を入れ、まだ原付バイクが残っているならば、田老市に寄付する方向で検討することになりました。その後、一般の方々も避難されている「ふれあい荘」と呼ばれる老人ホームやその他の避難所を回り、毛布や薬を配給しましたが、現地では当時、乾電池やペーパータオル、軍手等を必要としており、持参しそこねた物資も多々あったことが悔やまれます。

隠れた被災者が大勢いる…

ニュースでは報道されない、避難所以外で不安な日々を過ごしている被災者の存在も、自分

の目で確認しました。宮古市では停電が続いており、夜には真っ暗になります。そんな瓦礫に囲まれた暗闇の道路を1人の女性が歩いていたのを見かけ、声をかけて自宅まで車で送りしたところ、そこには避難所に行かずに、夜になると蠟燭を灯しながら、孫娘と2人で暮らしている老婆がいたのです。ちょうどその家は高台にあった為、津波の被害を間一髪で逃れることができたそうです。また田老近隣の小高い丘の上に、80代の老婆が2人だけで生活している家も訪ねてまいりました。このように避難所に行けずに自宅で生活している方々も大勢存在し、その場所や人数は自治体でも把握できていません。

その後、T1部隊と宮古市南西にある遠野市で合流し、そこ

から三陸海岸を国道45号沿いに再び北上し、田老町を再度訪れて2台の原付自転車を寄贈しました。こうしてTEAM90は、被災地を巡回しながら、ひたすら道行く人に声をかけて現地のニーズを確認しながら、支援物資の配給に努めたのです。そして被災地の縦断を終え、最後は盛岡経由でR2隊は22日深夜に、T1隊は行政からの要請に基づき宮城県巨理郡山元町へ救援物資をお届けして翌23日の早朝、無事成田に帰還しました。

人々の姿が美しく輝く日本！

被災地で目撃した悲惨な光景は、報道されている映像のとおり、まさに集落が全滅しているという想像を絶する凄まじい現実でした。突然、眼下に瓦礫だらけの消滅した町の光景が繰り

広げられた時の衝撃は、一生忘れることはないでしょう。しかしそのような災害の中でも、大勢の方々が希望を持ち続け、復興に向けて毅然と立ち上がり、互いに手を取り合って頑張っていました。一見、誰もが無力を覚えるこの大災害の環境下で、みんなが苦難を耐え忍び、様々な問題を乗り越えて、勇気を持って生きている姿が実に美しく思われます。その人々の姿に感動を覚えつつ、果たして今の自分に何ができるだろうかと自問自答を繰り返しながらも、やはり一人ひとりができることを精一杯やり遂げることが大切であるという熱い思いが満たされ、励まされているこの頃です。困難を極めた大災害に遭遇する時こそ、人間の真価が試される時です。今、日本は輝いています。(文：中島尚彦)

アンビルシゲルの 木まぐれコラム 第19話 「完全第一」

私が木工作品を作る上で、もっとも重要視しているのはケガをしないということです。安全に作業することを、作品の完成度よりもはるかに優先するよう意識しています。最近ではインターネットなどを通じて木工に関するさまざまな情報を簡単に入手することができますし、ホームセンターに行けば、たいていの電動工具は手に入ります。それらを使って日曜大工を楽しんでいる方も多いと思いますが、簡単な電動工具は必ず人の手で扱いますから、手軽なものほど注意が必要です。自動で加工を進めてくれる、工場の超大型機械の方がケガの心配が少なく安全と言えます。

私に楽器製作を教えてくれた先生も、左手に若い頃負ったケガの痕がありました。普通であれば製作家の道を諦めて当然と思えるほどの大きなケガだったそうですが、それでも週末には地元のクラブで自らギターを演奏していましたから、その情熱と前向きさには頭が下が

りました。もちろん作るギターも息を呑むほどの美しさです。

そんな先生の存在もあって、何年木工を続けていても電動工具に対する恐怖心は少しも薄れていきません。また、あっと言う間に加工が進んでしまう電動工具は、便利な反面、ほんの小さな作業ミスでも取り返しがつかなくなることがあります。ですから、あのけたたましい轟音を聞くと、今でも足が震えるほどに緊張しますが、この恐怖心を持ち続けることが大切なのだと思います。疲れてくると集中力が下がり、同時に恐怖心も薄らいでしまいますが、そんな時は休憩してクールダウンさせます。しかし問題は、いったん作業に没頭しはじめると、休憩を取ることを忘れてしまうことなのです。

木工家 アンビル シゲル

1971年生まれ。主にギターなどの弦楽器の製作を手掛ける木工家。1998年に単身渡米し、アリゾナ州にある弦楽器製作学校に入学。帰国後、千葉県内に自らの工房を構える。木材に対する愛情に溢れ、そしてまた造詣も深い。



DESIGNED BASIX SIMPLICITY

これからの季節に最適！バリ製の爽やかなガーデン家具

春のガーデン家具特集

チェア

ベンチ

テーブル

高級チーク無垢材とは？

ウッドデッキパネル

天然木パンキヤ

1枚 298円

書斎 / 勉強机

リクライニングチェア

高品質マットレスが超衝撃特価

ファニチャーハウス

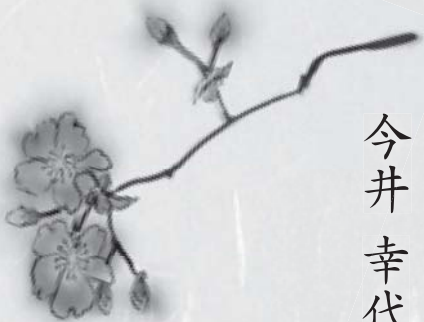
至千葉 至香取

www.furniturehouse.co.jp

京のお番菜 歳事記

第五回

郷土料理研究家
今井幸代



このたび、ご災難の方々さまに心からお見舞い申し上げます。

筍の春

木々をゆるがした北風も去り、村里のはづれを流れる小川の水が小さな音を立て始めると、京の西北、ここ嵯峨にも春が来る。

陽当りの良い土手のくぼみにも草花が咲きはじめて、タンポポ、れんげすみれなど顔を合せると、あたり一面菜の花のじゅうたんのような美しさにおおわれ、そして、一瞬の静なる日があつたかと思つとバツと目を見開くような美しい桜の花の絵巻がくりひろげられる「桜の花の香りに誘われて『筍』が目醒します。嵯峨の今井でございます」：こんなご挨拶を致しながら私は筍の春を飲むに包まれつつ毎年テレビ、ラヂオの番組をにぎわせて参りました。この嵯峨では昔から「この花が咲くと何々が顔を出す」とよく言われますが、春は「筍と桜」秋は「金木犀と松茸」というような組み合わせが自然と生まれて

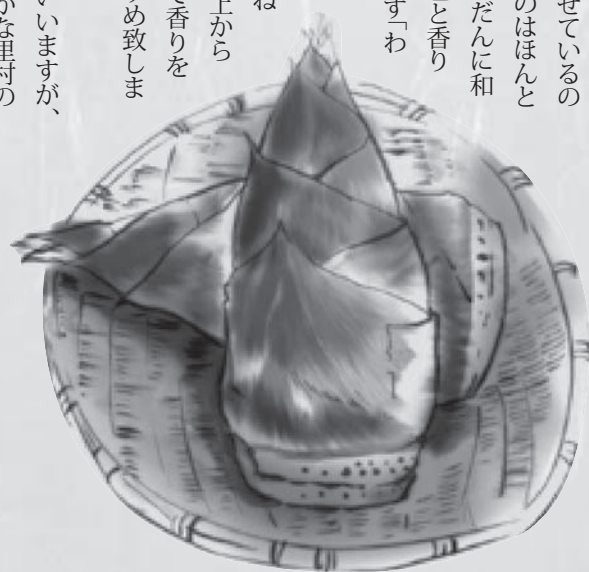
いて、誰でも知っていました。です。

我家にも竹藪があり白い柔らかな筍が出来るのですが、この筍は全部土の中に埋つていて、掘り起こしてから砂を争うと言われ、大急ぎで帰りますぐ大きなお釜で米糠、鷹の爪唐辛子を入れ、とつぷりゆがきます。

そして、ゆがいている間、決してふたをあけてはなりません。すっかり醒めてからさあざあと水に流し乍ら糠もあくも洗い落すのです。京のおばんざいに出合いのもの：というのがございですが「筍」は何といつても木の芽、若布が「一番相性」が合うといわれます。白みそ、お酒、甘酢を上手に溶いて、こまかくきざんだ木の芽をふんだんに入れますと香り高い木の芽あえが出来上ります。

木の芽が手に入り難い町かたでは、ほうれん草をすり鉢ですった中に少量

の木の芽を入れてまに合わせているのを見ますが、私の作りますのはほんとの木の芽だけで、十分ふんだんに和えるのです。すると春の色と香りが部屋中にひろがって思わず「わあっ」と歓声が上がります。若布と筍のお吸いものも、おだしをおいしくていいに立て、お椀にそそぎ、上から手のひらでポンとたたいて香りを出した木の芽を盛りおすすめ致します。



山椒のことを木の芽といいますが、ひなびた山の香りがして静かな里村の幸せがひろがってまいりますようです。こうして筍の春を謳歌しながら行く春を楽しみます頃、雅やかな都の伝統行事が次々とくりひろげられる中で祇園の「都をどり」「京おどり」など、町中ににぎわい、私もつられて毎年春の着物を作つてしまいます。しかし、今年

は国難とも思われます出来事で、とても気も心もすぐれませんが……。あつと言ふまに旬はすんで行きますもので、桜の花びらの一つ一つが潤っている時、不思議と筍も柔らかく美味ですが、花の表面が造花のようにカサカサになって来ますと桜も筍も峠を越した事を意味します。

筍が竹となり、そして竹はお箸や竹かごととなり、つる野菜の支えとなつて嵯峨の暮らしを守るのです。そして竹は皮を落し、皮は鯖寿司や羊羹を包む風流な包装となり、時にはお茶席のお庭草履にもなるのです。

竹には殺菌作用があると言われますが、お寿司や羊羹ばかりでなく、御飯

が腐らないよう竹簍に入れスルスルと井戸に吊し夏は冷蔵庫にも、何と多用途な貴重さでありましょうか。

「竹に上下の節有つたればこそ強いのです。人の世の礼節を表す言葉をつたえ竹は私に人生の指針をも教えてくれます。さやさやと小笹のゆれる音は嵯峨の音、小さな竹簍に民芸品への郷愁を覚えはじめた私でもありました。

今井 幸代

代々旧御室御所仁和寺領の庄屋を務めた家に生まれる。現NHK文化センター講師（京都教室・青山教室）琴・華道師範、ほかに茶道・仕舞・日舞・ピアノ他、京の芸事全般を習得。趣味は料理・漆器特に日本建築。テレビ（地元KBS）・ラジオに出演中著書多数。世界の食をリードする雑誌サプールの選ぶ世界の「100人」に日本人唯一人選出されている。

成田の命泉
大和の湯
yamato-no-yu

田園風景を望む様々なお風呂がごさいます

「大和の湯」効能

腰痛、神経痛、筋肉痛、関節痛、アトピー、五十肩、うちみ、運動麻痺、関節のこわばり、肌あれ、くじき、痔症、冷え症、慢性消化器病、後回復期、切り傷、疲労回復、健康増進、やけど、風邪の予防など

成田の命泉
大和の湯
yamato-no-yu

営業時間 10:00AM~10:00PM
年中無休（全館禁煙）

未就学児の入館はご遠慮ください

入館料 平 日：700円
土日祝：1,000円
小学生の入館料：300円
（大人同伴の入館の場合）

成田市大竹1630
☎0476-28-8111
www.yamatono-yu.com

至安富 16 成田安富バイパス 至成田空港
大和の湯 大和の湯 大和の湯
至安富 16 成田安富バイパス 至成田空港

おじ彩
AJISAI

季節ごとの料理を楽しむ
創作和風ダイニング

この広告をお持ち頂くと
平日1,000円以上のご飲食で
ドリンク1杯無料

紫苑
SHION

AQUAVILLE
PURIFIED DRINKING WATER

カリフォルニアのおいしい水
“アクアヴィル”
お手頃な価格でお届けします。

500ml×24本
898円
※一部地域、離島は除く
送料込み

携帯でのご注文はこちら



フィットネスハウス
0476-89-3111

未病を治す

横山瑞生

第78回

自分の健康は自分で守る 身近なところに薬草がある

冬の寒い野辺、路傍にも、どこい繁茂している草があります。タンポポ、ハコベなどが挙げられましょう。多少は日陰でも見かけることがあります。

カキドオシも、また同じ環境で息づいています。この草はつる性で地面を這うようにして繁殖する特性があり、垣根を越えて、ということから命名されたといひます。春になると、さらに新芽を吹き、ほどなく紫色の淡い小花をつけます。

筆者は鳥や植物の観察、観賞が大好きですが、中でも野草にすこぶる関心をもっています。

さて、このカキドオシは北海道から九州まで生息域を伸ばしています。この草を春の開花時期に根ざわから全草を刈り取り、これを水洗いして陰乾にし、よく乾燥させてから密閉容器に入れて保存します。いうまでもなく、日光に当たらない暗所に保管します。日光に当たると、その中の紫外線によって成分を変化させてしまうからです。これが薬草として利用されていることは、意外と知られていません。

少々専門的になりますが、カキドオシは精油を含んでいます。シソ科の植物は香りが好いことで知られています。この生の葉を刻むとハッカの匂いがします。もちろんハッカもシソ科です。シソ科には薬剤と

して用いられるものが沢山ありますが、このことについては次にゆずることといたします。

カキドオシは漢名で連銭草といわれています。円い葉を銭にぞらえて、この葉が茎に連なっているところから、この名を得たということです。

漢方薬の多くは、利尿剤として用いられています。アカネ、アケビ(木通)、ナツメ(大棗)、ドクダミなど枚挙にいとまがありません。

カキドオシは民間薬としても漢方薬としても、処方されます。民間薬は主に単味で用いられることが常ですが、糖尿病には、これにタラの根の皮、一日15～20gを加え、水600ccで2/3に煎じつめ、煎じ汁をこして、これを一日3～4回服用します。

先に述べた精油の他にタンニン、バルミチン酸、アミノ酸などを含み、鎮咳、消炎、解毒の薬効が認められています。

いすれにしろ、野辺や原っぱに生えている野草の中には毒草もありますが、注意してみると有用なものが少なくありません。野草、薬草に関する本が数えきれないほど書店、本屋さんに並んでいます。身近に生えている草々を利用するようお勧めします。

しかし、やみくもに用いることも時として、危険を伴うことがあります。予備知識も重要です。薬草研究会や薬草研究家は、今、大勢います。そうした方々の指導を受けることを切望いたします。



よこやまざいしろう
一本堂横山鍼灸療院 横山 瑞生
1939年、茨城県常陸大宮市生まれ。大塚敦節氏に漢方を、小川晴通氏に鍼灸を師事し、東京医療専門学校卒業後半年で母校の講師となる。中国医学研究会設立に参画、日中医療普及協会会長、東京都日中友好協会常任理事等、日中の友好関係へ尽力。現在、一本堂横山鍼灸療院院長、東京医科大学にてホリスティック医学を講義中。「カラー版鍼灸解剖図」「アレルギーはソバで治る」など著書多数。
診療所：東京都新宿区本町町10 四谷エースビル 101
お問合せ：03-3359-6693

求人 正社員 パート 勤務地：成田市

成田屈指の安定企業です!

募集職種

① コールセンター受付スタッフ (正社員) 給与▶年収 **280~360万円**

内容▶電話・E-mail・faxによる注文受付や問合せに対応
資格▶タイピングスキル必須、明るく電話応対・接客が出来る方、経験者優遇

② 楽器・音響機器販売サポート (正社員) 給与▶年収 **250~350万円**

内容▶音響機器・楽器の販売、問合せに対応
資格▶タイピングスキル必須、楽器・音響機器の販売経験・知識のある方

③ 総務・人事 (正社員) 給与▶年収 **280~420万円**

内容▶各種手続き・相談・規定整備・採用・労務・福利厚生など人事関連業務
資格▶タイピングスキル必須

④ 梱包・ピッキング (パート) 給与▶時給 **1,000円**

内容▶全国へ発送する商品の梱包・ピッキング作業
資格▶18歳以上、学歴・性別不問、週4日以上勤務
時間▶平日/9:00~18:00(休憩1H) 土曜日/11:00~17:00
※①、②、③パートも募集中：時給 **1,000円**~

時間▶①~③平日/9:00~19:00(休憩1H)
土曜日/11:00~17:00

※早出残業有り。職種により異なります。

休日▶日祝日、隔週土曜日、年末年始休暇、有給休暇
待遇▶社保完備、年2回賞与、詳細は右記参照

応募▶履歴書(写真貼付、自宅FAX番号又はPCアドレス明記)と職務経歴書(志願書、自己PR等)を下記アドレスまでE-mailまたは郵送してください。
書類選考の上、ご連絡差し上げます。

全館禁煙



営業グループ



物流グループ



サウンドハウス 営業スタッフ勢揃い
社員総勢140名!

充実の福利厚生! 年2回賞与! 社会保険完備! 他にも色々!

充実の社内施設
カフェテリア(社員食堂)
ライブステージもあるカフェテリアでランチタイムが楽しめます!



フィットネスジム
最新鋭のフィットネスマシンを完備! スタッフなら無料で使用できます!



スタジオ/ライブステージ
ライブステージで楽器を演奏する、歌うという夢が実現します。



スポーツサークル

フットサル、マラソン、テニス等、スポーツサークルも支援しています! お昼休みは卓球で盛り上がってます!



◆**ハイクレード住宅完備**
独身・家族用住宅有、ライオンズマンション、家族用戸建有!
◆**天然温泉無料優待**
温泉リゾート施設「大和の湯」を家族も一緒に無料で利用できます! 館内での食事やマッサージも割引あります!
◆**マイカー通勤OK**
大駐車場完備! みんな車通勤OK!
◆**その他特典色々**
海外研修ツアー(アメリカ、ドイツ、東南アジア)、社内カイロプラクティック有、奨学金制度、無償サプリメント支給、記念日お祝い...etc

国内最大規模の楽器・音響機器販売会社
株式会社 **サウンドハウス**

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 (野毛平工業団地内)

☎ **0476-89-1777**

✉ job@soundhouse.co.jp (担当:採用係)

中古スチールデスク
1,000円
サイズと型色々あります!
●幅160×奥行80×高さ72cm
●幅100×奥行69×高さ72cm...etc.
※直接引き取りに来られる方のみ
野毛平工業団地 (株)サウンドハウス内
(株)ネットハウス 千葉県成田市新泉14-3
☎ 0476-89-2333

パレット
無料でさしあげます
数に限りがありますのでお早めに
野毛平工業団地内
(株)サウンドハウス
☎ 0476-89-1777

編集後記
「東日本大震災」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。少しでも支援の手を差し伸べることができればと現地に足を運びましたが、初めて縦断する東日本の美しい太平洋岸と、それを襲った衝撃的な自然の破壊力をこの目で確かめ、その中で多くの方々が懸命に復興の道を歩んでいる姿に感動を覚えました。3日間で1500kmの支援活動の旅、どれ程お役に立てたのか甚だ疑問ではありますが、精いっぱい皆で頑張りました。日本は輝いています!

NCJ 編集長
中島 尚彦
1957年東京生まれ。14歳で米国に単身テニス留学。ウォートンビジネススクール卒業後、ロスアンゼルスに不動産デベロッパーとして起業。米国ビジネス最前線で活躍する。1990年に帰国後、成田においてサウンドハウスを立ち上げる。現在ハウスホールディングス代表、成田シティジャーナル編集長を兼務。趣味はギターとマラソン、アイスホッケー、及び日本古代史研究。